

運用事例 不審人物

安全なホスピタリティ

運用例



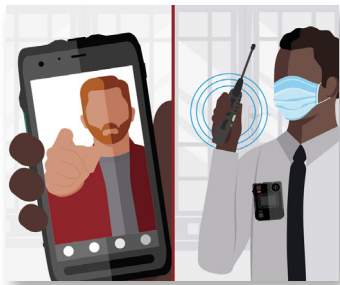
検知

不審人物の報告
スタッフが不審人物に気づき、身体装着型カメラ（BWC）を起動して録画を開始します。警報は自動的に直接担当者のデバイスとコントロールセンターに送信されます。



分析

状況の把握
コントロールセンターにいる警備班は、身体装着型カメラ（BWC）を含む周辺のカメラの情報を読み込み、状況を判断し、適切な対応を決定します。



通信

警備員の配置
警備班が出勤し、現場に到着する前に、不審人物の画像などの情報を共有。



対応

事態の収束と改善
警備員が不審人物と対峙し、敷地外へと誘導します。事案の報告は、関連するすべての情報を安全に記録し、周辺の他の施設と円滑に共有します。

テクノロジー



検知

- 身体装着型カメラ（BWC）
- コントロールルーム & ワークフロー管理ソフト



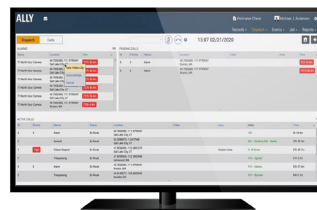
分析

- 固定式ビデオセキュリティ
- コントロールルームソフトウェア
- 身体装着型カメラ（BWC）



通信

- MOTOTRBO ION/ 双方向無線通信
- WAVE PTX: マルチメディア共有 & ブロードバンド・プッシュ・トゥ・トーク（PTT）
- ディスパッチコンソール



対応

- 身体装着型カメラ（BWC）
- 事案管理



*カメラ映像はイメージです。